

近くても知らないところ、あるある じてんしゃ王国さいたま 走ろう、味わおう、見てみよう!



埼玉県は自転車の保有率が日本一、過去10年間の快晴日数が日本一、それだけでなく県土に占める平地面積の割合は全国2位だとか。まさにこれは「じてんしゃ王国」ですね。今回は東京のお隣、埼玉県を走ります。荒川サイクリングロード、鉄道博物館、牧場のジェラート、蔵の街「川越」、見沼たんぼ、緑のヘルシーロード、近くても知らないところがいっぱい。皆さんもお隣の県を走ってみると、思わぬ発見がありますよ、きっと。

旅人・森田正美（もりたまさみ）
2JCA サイクリングインストラクター&ナビゲーターとして、本誌サイクリング特集のレポートをはじめ、さまざまなイベントで活躍中。元プロロードレース選手。

EIKOさんはポタガル埼玉の一員として、自転車と埼玉の魅力を発信するためにさまざまな活動をしています。颯爽と自転車を走らせる姿はとてモチャーミングです。スタートは戸田市アクシオンスポーツが運営する「ABC³（エービーシーキュービック）」。彩湖に隣接し、シャワーやロッカー、バイクガレージやレンタルバイクも整った、荒川サイクリングロードを走るサイクリストたちのベース基地です。今回私とEIKOさんが乗った「カラミータ」もこちらでお借りしました。カラミータはアクションスポーツオリジナル

彩湖から「鉄道博物館」、そして榎本牧場、蔵の街「川越」へ。見るところいっぱい、欲張りコース
埼玉のサイクリングで、どうしても行きたかったところ、「鉄道博物館」、ジェラートの「榎本牧場」そして「川越」。ちよつと欲張りなサイクリングコースを走ってきました。
案内してくださったのは、埼玉県サイクリング協会の谷嘉章理事とポタガル埼玉のEIKOさん。谷さんの愛車はフランスのパーツでクラシックにまとめられた「ROYAL NORTON シクロスポルティーフ」。長年自転車に乗って、カラダと自転車が一体化している姿は、カッコイイです。

荒サイのベース基地 「ABC³」&カラミータ

①今回自転車をお借りしたアクションスポーツが運営する「ABC³」（エービーシーキュービック）は隣接する荒川サイクリングロードで楽しむサイクリストのベース基地。シャワー&ロッカーのほかレンタルバイクやバイクガレージ、「武蔵野自転車旅行社」という自転車ツアーなども行っている。☎048-422-3800



②アクションスポーツが開発したクロモリバイク「カラミータ due+ Tバー」（左 105,000円）と「カラミータ due+」（111,300円）。乗りやすく、透明感のあるカラーも素敵。③サイクリングメンバーとアクションスポーツの方々、右から谷埼玉県サイクリング協会理事、私、神田社長、山内さん、ポタガル埼玉 EIKO さん、目代さん。

のクロモリ製バイク。細身でパステル調のカラーリングにホイールのホワイトがアクセントになってとてもおしゃれ。安定感がありサドルも長時間座っていても疲れませんでした。
天気はあまりよくありません。風が強く、土手の上では流されそうになりました。彩湖の波立つ湖面を眺めながらサイクリングロードを進みます。2本の大きな柱で真ん中をワイヤーで吊った幸魂大橋をくぐると、彩湖・道満グリーンパーク、広大な敷地にさまざまな運動施設が点在しています。水辺のサイクリングロードは気持ちが良い。JR 武蔵野線の鉄橋をくぐると、大きな水門の上に出ました、「さくらそう水門」です。



鉄道博物館は1日ではとても回りきれないほど。④明治初期から今までの実車両が展示される「ヒストリーゾーン」。⑤中央線などで活躍した1936年製造の「クモハ40形式車両」窓枠も床も木製。⑥私が4歳の時に製造された200系新幹線。お前がんばったね!と撫でてやりました。⑦国内最大級の模型鉄道ジオラマに圧倒されます。入場料/大人1,000円、小中高生500円 10時~18時 火曜休(7/16~8/27の火曜日は営業)

発見! 文明堂工場の直売所



カステラの文明堂・浦和工場にある直売所で、できたてスイーツをゲット! 切り落としカステラ10カット420円、かすてらポーロ1袋294円など幸せ感いっぱい。☎048-852-0006

美味 トロツとしたオムシチュー



鉄道博物館のなかにある「レストランTD」のオムシチュー(1,030円)は、フワッとトロツ。"TD"とは食堂車を表す車両の略記号。ここにもこだわりがあります。

国の特別天然記念物に指定されている「田島ヶ原サクラソウ自生地」がすぐ近くに広がり、サクラソウを育成するためにこの水門で調節するのだそうです。水門を過ぎると、秋ヶ瀬公園。河川敷に広がる緑地公園は自然林が森を形成し、その中に芝生広場や運動施設などが作られています。公園を貫く道は車も通行するので、森の中を散策しながら走りまわりました。自然環境を保護するためにきちんと管理され、緑もあふれんばかり、気持ちいい。

羽根倉橋からサイクリングロードを離れ、県道57号を通って「鉄道博物館」を目指します。するとEIKOさんから「この先に、カステラの文明堂の工場があるんです!」と寄りませんか、カステラの切り落としなどがびつくりするくらい安いですよ」と美味しい提案が、それは行かなくちゃ! 「文明堂南関東支社浦和工場」の入口に直売所があります。朝だというのに中はたくさんの人。大きな袋を持ったおばちゃんに「いっぱい買いましたね」というと、「安くて美味しいからねえ、今日は入院しているお友達におみやげ」とにっこり。切り落としカステラはふわふわのつやつや、二度揚げの黒蜜・白蜜かりんとう、懐中汁粉、ポーロなど目移りしちゃうほどたくさん並んでいます。谷さんの顔もほころんでいます。EIKOさんはすでにカステラとポーロを抱え込んでレジへ。私は切り落としカステラとかりんとうをおみやげにしました。



彩湖湖畔はちょっと風が強かったけど、このまま荒川沿いに歩行者と自転車が分けられた快適なサイクリングロードを走ります。

ゾーン、ここは明治時代初期から現代に至るまでの鉄道技術やシステムの変遷・歴史を実際の車両を展示しながら紹介しています。まず目にしたのはC57形式135号蒸気機関車。ちょうど回転実演が始まったところ、3つの動輪、つや消しの黒い巨体、石炭を満載し、さながら今にも走り出しそうな迫力です。機関士が運転席で手を振り、現役時代と同じ汽笛を館内に響き渡らせました。EIKOさんも私も携帯カメラで撮影に夢中、谷さんは手すりにもたれかかって「いいなあ」と感心しきりです。車両の下から見上げたり、シートに腰掛けたり、昔の車両を体感、私が4歳の時に製造された200系新幹線はその鼻先を撫でてあげま



榎本牧場は90頭あまりの乳牛を飼育している酪農牧場。牧場体験や手作りのジェラートが味わえます。ジェラート(262円)は口の中に入るとスッと溶けていく美味しさ。☎048-726-1306



榎本牧場の近くになると、サイクリングロードは細くくねり、まるで緑の絨毯のなかを走ると感じるような感じです。



駄菓子屋が店いっばいにある菓子屋横町は人気のスポット。玉力製菓の飴玉さくら(200円)はサクランボの味が口中に広がります。



城下町川越。昔ながらの佇まいを残し、商店が軒を連ねる蔵の街。自転車を押してゆっくり見て回ろう。

「時の鐘」は川越のシンボル。ここを中心に街めぐりを楽しむ人たちが賑わいます。



縁結びで有名な川越氷川神社。EIKOさんは「あい鯛みくじ」で「小吉」を釣りあげました。良いこときつとある！



した。鉄道の原理やしくみを展示する「ライニングゾーン」疑似運転体験ができる「シミュレーターホール」、日本最大級の「模型鉄道ジオラマ」などなど、見所いっぱいです。見学していたらお腹がすいたので、館内の「レストランTD」へ。オムシチュー

をいただきました。濃厚で懐かしい味がしました。

鉄道博物館をあとにして、川越へ。途中ぜひ寄りたいところがありました。選手時代夏になると寄ってジェラートを食べた「榎本牧場」です。上尾市畔吉、荒川サイクリングロードのほとり、青々としたクロバーの草原、ホルスタインが草を食んでいます。「Fortuna」と書かれた小さなログハウスがジェラート売り場。私の好きな「ラムレーズン」、口の中に入れたとたん溶けて、しつかりラム酒に漬かったレーズンが、そうそうこの味だった…。

サイクリングロードから開平橋を渡り、川越へ。国道254号を渡ると川越随一のパワースポット「川越氷川神社」です。縁結びの神様として若い女性に大人気。「EIKOさん、私、自転車旅でいつも縁結びの神様にお祈りして、おかげで嬉しいご縁をいただいたんですよ。だからお祈りしなくちゃ!」。EIKOさん「あい鯛みくじ」を引いて、お祈りを。きつと、いいことありますよ! 蔵の街・川越は平日にもかかわらず多く

美味 川越に来たら芋シュー



亀屋の芋シュー(137円)はさつまいもの濃厚な味がたっぷり。他に小江戸川越シュー(狭山茶、桜158円)も美味しい。



の人で賑わっています。自転車を押しながら美しく保存されている蔵造りの町並みを歩きました。街のシンボル「時の鐘」、「蔵造り資料館」、「菓子屋横町」、「埼玉りそな銀行川越支店」、「大澤家住宅」、「亀屋」の芋シューを口に入れたころには夕暮れが近づいていました。あれだけの人の波がサーッと引いて、街は喧噪の一日を終えようとしています。私たちもここで一日を終えることにしました。



通船堀公園は竹林のなかを木道を進みます。風がそよぐたびにサラサラと、葉が鳴り、とても心が落ち着いていく気がします。

見沼たんぼから大宮公園へ。歴史を辿り、花を愛で、広大な田園風景を味わい尽くす

私は自転車選手としての最後の3年間を上尾市の「ブリヂストンアンカー」で過ごしました。ブリヂストンアンカーでの練習はもっぱら秩父や越生といった山方面へ行くことが多く、荒川サイクリングロードや平坦なところを走るの移動やリカバリーのため、楽しみながらゆつくりサイクリングするなんてことはありませんでした。私にとって埼玉は、ある時期生活そのものであったし、身近なところでもあったのですが、じつは知らないところがいっぱいあります。ここで紹介する「見沼たんぼ」エリアもそのひとつ、江戸時代に新田開発された広大な土地が今もその姿を残し、土地を形成してきた歴史を学びながらまつわる史跡や自然をめぐるのは楽しかった。行って、走って、見て、わかったこと、感じたことがたくさんありました。

スタートは北浦和の埼玉県サイクリング協会。「今日はどうしても時間がとれなくて、一緒に走れないんだ



古くから農業を営む人々にとって大切な水の神である女神を祀ったものと言われる「氷川女体神社」。鬱蒼とした森、鳥居をくぐると荘厳な雰囲気が漂います。



“山田のなかの一本足の案山子”という童謡発祥の地碑が、女体神社に隣接した「見沼氷川公園」にあります。そうかあ、あの歌はこの景色を歌ったものなんですね。



こんなところを船が通ったの！と思ってしまうけど、見沼通船堀は芝川と見沼代用水路をつなぐ閘門（こうもん）式運河。理屈を知ると、昔の人の知恵に驚かされます。

よなあ」と残念がる渡邊廣次理事長にお見送りをいただき、同行・案内をしてくださる山崎辰雄理事と一緒に出発。山崎さんは折りたたみ小径車・BDI、私はカラミータで走ります。

「まず氷川女体神社へ行きましょう、氷川女体神社は見沼と深い関係があるんです」と山崎さん。国道463号を行き、左折して住宅街を走ります。金色に光った三角屋根の文殊寺を過ぎ、朝日坂を右折すると、まもなく前方に田園風景が見えます。ビニールハウスでは花の栽培、ハーブ畑が広がっています。水路にぶつかりました。そこが「見沼代用水路西縁」です。水路沿いは桜並木、春の季節はきれいでしょ。うね。代用水路沿いを走ると赤い橋が見えます。鬱蒼とした森、その中が「氷川女体神社」です。

見沼一帯はその昔海でした。やがて海が引いて、沼になり、それが見沼と呼ばれたそうです。沼は農業を営む人々に神

の棲む神聖な沼とされ、その神聖な場所に水の神である女神を祀ったのが、この氷川女体神社と言われています。と山崎さんが解説してくれました。急な階段を自転車を担いで登ると、赤い鳥居、境内はクスノキやタブノキなどが生い茂り、奥に拝殿が鎮座しています。なんとなく空気が張りつめ、パワーがみなぎっているような気がします。

“山田のなかの一本足の案山子”という歌はみなさんもよくご存じだと思います。この歌の発祥の地はここ見沼だったんです。氷川女体神社に隣接する「見沼氷川公園」、芝生が広がり、子どもたちが駆け回っている



今日は埼玉県サイクリング協会からスタート。同行の山崎理事（左）と「今回は時間がとれなくて残念だなあ」とお見送りいただいた渡邊理事長。「じてんしゃ王国さいたま」を支えています。

美味 見沼に来たら鰻重を食べなきゃ



見沼に来たら鰻を食べなきゃ。東浦和駅近くの活魚割烹「赤坂」で待望の鰻重御膳（2800円）をいただきました。香ばしい匂いがいっぱい、嬉しい！
☎048-873-3731





芝川の土手は「芝川サイクリングロード」になっている。取材時はちょうど菜の花が道の両側を埋め尽くし、左右を見ながらゆっくり走りました。

美味 美園いちごランドで絶品おみやげ



莓つみ体験ができる「美園いちごランド」に立ち寄りしました。ハウスのなかには水耕栽培、甘い匂いがいっぱい。オリジナル「レイベリー」(600円)をおみやげにしました。

☎ 048-826-6360



す。見上げるほど大きな案山子のオブジェ、碑には作者の武笠三が作詞した歌詞が刻み込まれています。武笠三は氷川女体神社の神主の子として生まれ、国定教科書編纂官の職に就いたとき、子どものころ心に刻んだ見沼田んぼの風景を尋常小学校唱歌にしたと言われています。

山崎さんの後について、見沼代用水路西縁に沿って芝川へ向けて走ります。道幅はそう広くはありませんが、ゆつくりとポタリングするにはとても気持ちの良い道です。いくつか大きく蛇行し、左手には田園風景が広がっています。ところで、この見沼代用水路って何だろう？ と疑問が…。そこで山崎さんが、「これも見沼田んぼ形成の重要な役割を果たしているんです」と。400年ほど前、見沼は灌漑用水池として改修され、開発が進められましたが、築いた堤防により洪水が発生して見沼沿岸は甚大な被害にあったそうです。八代將軍吉宗の時代、その被害をなくすため、また財政再建のために見沼の灌漑用水から水を抜き、新田に作り替えました。できた田んぼが「見沼田んぼ」です。抜いた水を流す川が「芝川」、そして見沼田んぼに水を取り入れるのが



「園芸植物園」は展示温室や花木園、見本園などがあって市民が花と緑にふれあうことのできる憩いの場所。天然記念物「桜草」の原種などをみることができました。

☎ 048-878-2026



「見沼代用水路」です。見沼代用水路は芝川の西側と東側の二つあり、行田市、利根川から水を引いています。見沼の人々の命を支えてきた見沼代用水路、こんなお話を聞くと、こんなに細い水路なのにがんばったね、偉いね！ と褒めてあげたくなります。

さらに見沼の歴史に関係する場所「見沼通船堀」へ走ります。通船堀へは整備された「通船堀公園」の中、自転車を押して行きました。竹林の中を木の回廊が続いています。風が吹くたびに葉がさらさらと音を立て、とても気持ちが癒されます。

代用水路と芝川が整備されると、江戸と上流地域との海運が盛んになりました。芝川はもともと代用水路の水を流すために、低地に作られています。芝川から代用水路に船を上げるために、引き上げた船の下に閘を作り、水位を上げて船を上げるという方法を考えました。それが通船堀です。船を上げるためには大勢の人の力が必要だったそうですが、船を通すことでこの流域は大いに栄えたと言います。西縁の通船堀は流れも静かで、こんなところを船が上がつてきたんだと感心するばかり。昔の人の知恵はほんとうにすごいと思いました。



「国昌寺の開かずの門」には左甚五郎作の龍の彫刻が掛けてあります。龍は今にも動き出しそう、開かずの門には、龍にまつわる見沼の不思議な言い伝えがあります。



見沼田んぼが形作られた背景には水にまつわる歴史がありました。山崎さんのお話を聞きながら見て、走ってみると、今目にしている景色もずいぶんとちがったものに見えてきます。もしかすると、日本の田園風景にはどこにもこのような歴史があるのかもしれない。それを確かめるサイクリングに出かけるのも良いですね。

さて、鰻、鰻、埼玉に来たら鰻を食べなくては！ ということで東浦和駅近く活魚割烹「赤坂」へ突入しました。「ちよつとお時間いただきますよ、今日は大きいからラッキーですよ」。そうやったあ！



「総持院」は有名な「ボタン寺」です。生け垣に区分けされた庭園は、深紅、白、紫と色とりどり、大きく花開いたボタンが咲き誇っています。それは壮観でした。



埼玉県は全国的に有名な花、苗木、植木の生産地です。広大な田園風景のなか、芝桜のピンクがあたりを色づかせています。なんだか良い匂いもしますよ。



芝川に架かる橋で一休み。川はゆったりと流れ、土手には菜の花、遠くには新都心のビル群が見えます。ほんとにのどかです。



門戸を開放し、生け垣を整えた平屋建ての家屋。美しく区画整備された町並みが目を見張ります。盆栽村はそこだけが凛とした佇まい。山田香織さんの「清香園」もそこにあります。

香ばしい香り、口の中にふつくらとした味が広がります。美味しい！
芝川の土手上にあるサイクリングロードを上流に走り、「美園いちごランド」を目指します。芝川サイクリングロードはからし菜が道の両側にあふれています。夏になると緑のカーペットロードになるのでしょうね。ペダルを漕ぐだけで爽やかな気分になります。ほどなく「美園いちごランド」へ着きました。店の前の顔出し看板(?)について顔をのぞいてしまつて、ちよつと興奮気



「大宮氷川神社」は東京・埼玉に200ほどある氷川神社の総本社だそうです。長い参道、赤い大鳥居、境内の壮大さは風格を感じます。



味！ ハウスの中は水耕栽培のいちごが列をなし、甘い香りに包まれています。オリジナルブランド「レイベリー」は瑞々しく微かな酸味とまろやかな甘みが広がりました。いちごランドを出ると「園芸植物園」はすぐ。園内はさまざまな植物、花が育成され、季節には花のお祭りや園芸教室なども開催されています。
見沼代用水路東縁を走り、左甚五郎作の龍で有名な「国昌寺」へ向かいます。ここにも水にまつわる言い伝えがありました。見沼の水神「龍」が暴れ、村人を困らせた。そこで村人は左甚五郎に頼んで龍の彫刻を彫ってもらい、それを門の上に掛けると、龍は静まったといわれています。いまでも龍の彫刻は「開かずの門」の上にあります。この開かずの門は、葬式がこの門を通ると門の上の龍が死人を食べてしまうので、開かずに

したのだとか。うーん、龍の顔はけっこう可愛かったけど…。続けて訪れたのはポタンで有名な「総持院」。白、深紅、紫、多彩なボタンが咲き乱れていました。
総持院を出て東縁から西縁へ、大宮を指します。水辺と田園風景、浦和レッズの練習場の横を通り、大宮第二公園、大和田公園の脇を走り、「盆栽村」に立ち寄りました。盆栽師で有名な山田香織さんの「清香園」を見学。盆栽の言葉にできない存在感に圧倒されました。さあ、今回の終着点「大宮氷川神社」へ着きました。長い参道、荘厳な社殿、それにも増して参道の「氷川焼きだんご」が食べたくなって…。一口食べたら、今日走った見沼の風景、水と人との歴史が蘇ってきました。ただ走るだけでなく、こういう旅も良い。しかし「氷川焼きだんご」は美味しいなあ。

美味 氷川焼きだんごを食べなくちゃ



氷川神社参道にあるお休み処「氷川だんご」。醤油の焼ける匂いが店の外まで漂い、お客さんがひきもきらず詰めかけます。焼きだんご(10本650円)はもとより、あげまんじゅう(10個850円)も美味しい。